



# シャジン（沙参）

## 語源

学名 ツリガネニンジン属 *Adenophora*：ギリシャ語の「腺」(adenos) + 「持つ」(phoreo)、すなわち茎や葉に乳液を出す腺細胞があるという意味。種小名 *triphylla*：「triphyllus = 三枚の葉の」という意味。

和名のツリガネニンジンとは、花が釣鐘型で根が朝鮮人参に似ていることから名付けられた。

## 基原

*Adenophora triphylla* A. De Candolle ツリガネニンジン

*Adenophora stricta* Miquel マルバノニンジン

*Adenophora tetraphylla* Fischer

*Adenophora hunanensis* Nannfeldt

キキョウ科 多年生草本

中国市場には沙参に北沙参(ほくしゃじん)と南沙参(なんしゃじん)の二種類があり、日本で沙参といっているものは南沙参のことである。北沙参はセリ科のハマボウフウ(〔中〕珊瑚菜 *Glenia littoralis*)の根及び根茎であるが、これは日本のハマボウフウに相当する。



## 薬用部分

根

## 産地

中国(安徽、江蘇、浙江、貴州、四川、湖北、湖南、広西、福建、河南、青海など)、韓国、北朝鮮、日本など

## 主な成分

サポニン、イヌリン

## 主な薬効

去痰、鎮咳

## 代表的処方

漢方では補陰・止咳・去痰の効能があり、肺熱による咳嗽や咽喉腫痛、口渴、咽乾などに用いる。

### 【沙参 麦門冬湯】

シャジンバクモンドウトウ

肺陰を清養し、津液を生じ、燥を潤す効能があり、咽乾口渴、乾咳少痰、舌紅苔少のものに用いる。  
(処方内容) 沙参/麦門冬/玉竹/生甘草/桑葉/白扁豆/天花粉

### 【益胃湯】

エキイトウ

発熱性疾患の回復期の衰弱・脱水(陰虚少津)に用いる。咽喉乾燥・口渴・水が飲みたい・便が硬い・脈弱無力・時々熱感があるなどの胃陰虚の症状があるときに用いる。

(処方内容) 沙参/生地黄/麦門冬/玉竹/氷砂糖

### 【清胃養陰湯】

セイイヨウイントウ

胃陰虚による虚熱の症状があるときに最も適している。慢性胃炎などで、食欲不振・食べるとすぐに吐く・ときどき乾嘔(声あるいは涎末のみで食物の出ない嘔吐)する・舌質は深紅・光剥無苔(こうはくむたい、舌にある元々の苔が突然消失し剥げ落ちたようになったもの)などの症状に用いる。

(処方内容) 川石斛/沙参/麦門冬/天花粉/白扁豆/鮮竹筍/生豆芽

※参考文献：「日本薬局方外生薬規格」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「日本薬草全書」「家庭の民間薬・漢方薬」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「漢薬の臨床応用」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou